



2020年4月16日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 米 浩
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 藤岡 健
経営管理部長
(TEL. 03-3664-9665)

デ・ウェスタン・セラピテクス研究所とのMRX-5LBTにおける共同開発契約締結のお知らせ

当社グループが米国で開発中の、帯状疱疹後の神経疼痛治療薬MRX-5LBT(リドカイン^{*1}テープ剤)について、株式会社デ・ウェスタン・セラピテクス研究所(D. Western Therapeutics Institute、以下、「DWTI」)と共同開発契約(以下、「本契約」)を締結しましたのでお知らせします。

本契約は、現在当社グループ単独で開発中のMRX-5LBTについて、今後はDWTIと共同で米国における開発を進めるものであります。当社は今後、米国における事業化の進捗に応じたマイルストンの形態で最大2億円をDWTIより受領します。一方で、MRX-5LBTの米国事業より得られた収益の一定割合をDWTIに支払います。

本契約の目的は、DWTIが培ってきた医薬品開発に関する知見や経験をMRX-5LBTの開発・事業化に活かすとともに、当社グループの短期的な財務基盤を強化することにあります。

MRX-5LBTは、イオン液体^{*2}を利用した当社の独自技術ILTS[®](Ionic Liquid Transdermal System)を用いた新規のリドカインテープ剤であり、リドカインパップ剤Lidoderm[®]の市場をターゲットとして開発を進めている製品です。これまでの臨床試験結果より、MRX-5LBTは、先行指標品であるLidoderm[®]より「皮膚刺激性が少なく」「貼付力に優れ」「運動時においても貼付力を保持できる」より良い製品として市場浸透することが期待されます。米国におけるリドカイン貼付剤市場は、2018年において505億円(468 million USドル)と推計^{*3}されています。

今後は、2020年に新薬承認申請(New Drug Application, NDA)を行う計画であり、2021年に承認取得を見込んでいます。

なお、当社グループの2020年12月期業績への影響につきましては、本日(2020年4月16日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

DWTIについて

(1)	名 称	株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
(2)	所 在 地	名古屋市中区錦一丁目18番11号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 日高 有一
(4)	事 業 内 容	医薬品研究開発
(5)	資 本 金	34百万円 (2019/12/31現在)

以 上

《ご参考》

*1 リドカイン

神経末端において痛みの信号を遮断することにより痛みを軽減させる、局所麻酔薬の一種です。

*2 イオン液体

イオン液体とは、融点が 100℃以下の塩(えん)のことで、常温溶融塩とも呼ばれています。低融点、高イオン伝導性、高極性、不揮発性、不燃性等の特徴を有しており、太陽電池や環境に優しい反応溶媒等、多方面における応用が検討されています。当社では、薬物をイオン液体化する、或いは、イオン液体に薬物を溶解することにより、当該薬物の経皮浸透性を飛躍的に向上させることができることを世界に先駆けて見出しました。現在までに、①人体への使用実績がある化合物の組み合わせによる安全性が高いと考えられるイオン液体ライブラリー、②対象薬物の経皮浸透性向上に適したイオン液体の選択に関するノウハウ、③薬物を含有するイオン液体をその特性を保持したまま使い勝手のよい形(貼り薬、塗り薬等)に製剤化するノウハウ等を蓄積しています。これらのノウハウ等も含めた独自の経皮吸収型製剤作製技術を総称して、ILTS[®](Ionic Liquid Transdermal System)と呼んでいます。

*3 data source : IQVIA